

生活文化スポーツ局指定管理者評価委員会 議事録

開催日時	令和4年8月1日(月) 14時30分～17時40分
開催場所	オンライン開催 (Microsoft Teams利用)
出席者	(委員長) 守泉 誠 (委員) 小海 隆樹 丸山 正 上代 圭子 二條 実穂 (指定管理者) 以下5施設の担当者 海の森水上競技場 夢の島公園アーチェリー場 カヌー・スラロームセンター 大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場 東京アクアティクスセンター

- 目次 -

指定管理者評価制度の説明.....	1
-------------------	---

所管局一次評価

【海の森水上競技場】	3
【夢の島公園アーチェリー場】	4
【カヌー・スラロームセンター】	5
【大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場】	6
【東京アクアティクスセンター】	7
【全体を通しての質疑】	8

評価委員会二次評価

【海の森水上競技場】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑	10
二次評価審議	13
【夢の島公園アーチェリー場】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑	15
二次評価審議	19
【カヌー・スラロームセンター】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑	23
二次評価審議	27
【大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑	29
二次評価審議	33
【東京アクアティクスセンター】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑	36
二次評価審議	40
全体整理	44

指定管理者評価制度の説明【所管局】

発言者	内容
武田課長	<p>それでは説明させていただきます。本委員会につきましては、東京都生活文化スポーツ局指定管理者評価委員会設置要綱に基づいて組織されております。7月29日に開催された指定管理者評価委員会において、委員長及び議長は、委員の皆様との互選により、守泉委員に決定させていただきました。守泉委員、本日もお手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
守泉委員長	<p>よろしくお願いいたします。</p>
武田課長	<p>それでは、委員会の運営・進行につきましては、東京都生活文化スポーツ局スポーツ施設部長の小池が務めさせていただきます。</p>
小池部長	<p>委員の皆様方、よろしくお願いいたします。先週に引き続きまして司会をさせていただきます、東京都生活文化スポーツ局スポーツ施設部長の小池でございます。本日も大変お忙しいところ、7月29日に実施しました既存9施設の評価委員会に続きまして、当局指定管理者評価委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日は新規恒久5施設の評価をいただきたく存じます。</p> <p>新規恒久施設は平成31年度、令和元年度より現指定管理者で供用を開始しておりまして、今年度は5年間の指定管理期間の最終年度となっております。ぜひ、忌憚のないご意見をお聞かせいただきまして、適正に評価いただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本日の委員会の会議資料及び発言者名を含めます議事録につきましては、先般の委員会と同様、後日HPで公開することとなっております。これにご異議ございませんでしょうか。</p> <p>ご異議はないようですので、それでは、公開に先立ちまして、後日ご確認をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、スタートが若干遅れてしまいましたが、これより議事に入らせていただきます。次第に従いまして、指定管理者管理運営状況評価の流れについて、まず事務局よりご説明いたします。</p>
事務局	<p>会議に先立ちまして、事務局から資料のご紹介をさせていただきます。資料につきましては、モニターに投影いたします。まず、今回の評価委員会の次第でございます。資料は7点ございまして、事前に送付させていただいております。資料1でございますが、この度の評価委員会の委員名簿でございます。資料2が対象施設及び指定管理者の一覧。資料3が指定管理者管理運営状況評価の流れ。資料4は施設ごとの一次評価の資料。資料5は本日プレゼンをする指定管理者の管理運営状況の資料。資料6が二次評価の案。最後に資料7として設置要綱でございます。</p>
武田課長	<p>本日は、資料2に記載しております、当局所管の新規恒久施設5施設について、所管局による一次評価を踏まえ、ご審議をいただきます。</p>

	<p>審議に先立ちましては、指定管理者によるプレゼンテーション及び質疑を行う予定でございます。</p> <p>指定管理者評価の全体の流れにつきましては資料3の通りでございます。内容は7月29日に開催されました指定管理者評価委員会と同じものになります。差し支えなければ説明を割愛させていただければと思いますが、指定管理者管理運営状況評価の流れにつきまして、ご質問等はございませんでしょうか。</p>
小池部長	<p>委員の皆様よろしければ、進めさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>では、各施設につきまして、所管局による一次評価の結果の報告に移りたいと思います。</p> <p>一次評価結果報告のあと、3施設分の指定管理者によるプレゼンテーション、質疑、二次評価の審議を行ったあと、それぞれ10分程度の休憩を予定しております。全5施設の審議を実施しまして、終了は17時40分頃の予定となっております。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>新規恒久施設における一次評価の考え方につきましては、7月29日にご説明しました既存施設における一次評価の考え方と同じとなっております。差し支えなければこちらも説明を割愛させていただければと存じますが、一次評価の考え方について、ご質問がなければ、このまま進行させていただきます。よろしく願いいたします。</p>

所管局一次評価【海の森水上競技場】

発言者	内容
小池部長	<p>それでは早速ですが、各施設の評価結果について順番にご報告をさせていただきます。</p> <p>まず、海の森水上競技場の一次評価の結果について、事務局からご報告させていただきます。</p>
武田課長	<p>それでは、資料4の海の森水上競技場の部分についてご確認いただければと思います。資料の右側に一次評価の結果を記載してございます。こちら標準点が31点のところ得点が36点、結果としてはB評価ということになっております。</p> <p>財務状況につきまして守泉委員長に確認いただいておりますけれども、指定管理者のグループ内において健全な団体がある一方で新型コロナウイルス感染症の影響で赤字になっている団体があるため、今後の経営環境の推移を注視する必要があるということで、評価いただいております。</p> <p>内容ですけれども、まず「管理状況」の「適切な管理の履行」のところの「(2) プール施設・水上競技施設の管理」ですけれども、水準を上回ると評価された点では、東京2020大会におきまして、早朝、それから夕方もなんですけれども、水面の清掃や柔軟なポンプの稼働を行うなど、良好な競技環境の確保に取り組んだ点といったところが評価されております。</p> <p>また、「安全性の確保」のところの「(1) 施設・設備の安全性の確保」に関しましては、東京2020大会期間中に発生した遮熱性舗装の剥がれ、こちらInOutポンツーンの前、艇庫棟と間の部分ですけれども、そういった事象がありましたけれども、選手が踏んで怪我をする恐れがあるということで、組織委員会からの指摘がございましたので、緊急修繕を実施したということで、大会運営に貢献したといったところがございます。</p> <p>それ以外にも、「(1) 施設・設備の保守点検」、「(3) 施設の清掃」、「(5) 人員配置」と、各項目につきまして、通常の維持管理業務の範囲を超えた取組を行い、円滑な大会運営に貢献したといったところが評価として挙がっております。</p> <p>なお、こちらの施設、東京2020大会による準備と、大会の本番、それから大会の終わった後の組織委員会の仮設物の撤去工事といったところがございましたので、令和3年度につきましては一般への供用は行えていないという状況でございます。私の方からの説明は以上になります。</p>
小池部長	<p>雑駁ですけれども、海の森水上競技場の一次評価についてご説明をさせていただきました。</p> <p>ただ今の一次評価の判定につきまして、委員の皆様からご意見・ご質問等ございましたら、ご発言をよろしくお願いたします。</p> <p>どなたからも手が挙がっていないということで、よろしいでしょうか。それでは、海の森水上競技場は以上とさせていただきます。</p>

所管局一次評価【夢の島公園アーチェリー場】

発言者	内容
小池部長	<p>続きまして、夢の島公園アーチェリー場の一次評価の結果につきまして、事務局からご報告させていただきます。</p>
武田課長	<p>続きまして、夢の島公園アーチェリー場の資料をご覧いただきたいと思います。資料の右側の一次評価の結果ですけれども、標準点 34 点のところ得点としては 37 点、一次評価の結果としては B という評価になっております。</p> <p>その下の確認事項の点ですけれども、財務状況につきましては、指定管理者のグループ内において、健全な団体がある一方、新型コロナウイルス感染症の影響で赤字になっている団体があるため、今後の経営環境の推移を注視する必要があるということで、ご確認いただいております。</p> <p>また、こちらの施設は公園の管理者と一体となって、特命で設定している施設になりますので、特命要件の継続状況についても確認をとっております。こちらにつきましては、公園との維持管理の一本化などによって、引き続き運営の効率化を図っていくために、公園と一体的に管理運営を行っていく必要があるということで、確認しております。</p> <p>続いて、資料の左手の方ですけれども、「管理状況」のうちの「適切な管理の履行」の「(3) 人員配置」に関して、東京 2020 大会において、試合前の事前点検の実施や緊急対応に備え、早朝からシフト体制を構築した点、また、それにあたって、本社や構成企業からの人員応援を要請し増員対応した取組が評価されております。</p> <p>また、「適切な財務運営・財産管理」の「(2) 経理処理」につきまして、事務処理の電子化について、要求水準としては求めているところではあるのですが、経理事務の効率化、それからペーパーレスといったところに取り組んだところが評価のポイントとなっております。</p> <p>また、次に「事業効果」のところです。こちらの「(1) 利用状況」ですけれども、こちらに関しましては、令和 3 年 10 月 31 日に再開業した後、大会利用実績というところでは、施設運営計画の目標を上回るペースで、約 5 か月間での供用の期間ではあったのですが、18 大会を開催したところが評価のポイントとなっております。</p> <p>私の方からの説明は以上となります。</p>
小池部長	<p>夢の島公園アーチェリー場につきましての一次評価の説明は、簡単ですが以上でございます。委員の先生方から一次評価につきまして、ご意見・ご質問等ございましたら、ご発言をよろしくお願いいたします。</p> <p>皆さん手が挙がっていらっしゃるようですので、それでは夢の島公園アーチェリー場は以上とさせていただきます。</p>

所管局一次評価【カヌー・スラロームセンター】

発言者	内容
小池部長	<p>続きまして、カヌー・スラロームセンターの一次評価の結果につきまして、事務局よりご説明させていただきます。</p>
武田課長	<p>続きまして、同じく資料4のカヌー・スラロームセンターについて説明させていただきます。</p> <p>一次評価の結果ですけれども、標準点が32点のところ36点の得点、一次評価の結果といたしましてはBという評価となっております。</p> <p>財務状況につきましては、経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されているというところで、ご確認いただいております。</p> <p>次に資料の左手です。まず「管理状況」についてですけれども、「適切な管理の履行」のところの「(3) 施設の清掃 (清潔さ)」についてですけれども、東京 2020 大会におきまして、大会前にあらかじめ水質のメンテナンスの専門企業とテストを行った除藻薬を投入し、清掃管理を行い、通常管理基準と比較し苔を大幅に抑制することができまして、その結果、大会関係者の好評を得たということが評価として挙がっております。</p> <p>それから、「事業効果」のところの、「事業の取組」の一番下、「(10) 新型コロナウイルスへの対応」についてです。こちら東京 2020 大会前に、プレゲームトレーニングという、これは各国の代表チームの練習利用のためのトレーニングの機会を提供したものでありますけれども、こういったものや、JAPAN チームのトレーニングにつきまして、新型コロナウイルス感染症の影響で日程や実施方法の大幅な変更が余儀なくされる中、感染症対策、それから必要経費などの調整を綿密に組織委員会等と行い、受け入れを実施したといった点が評価として挙がっております。</p> <p>私の方からの説明は以上になります。</p>
小池部長	<p>カヌー・スラロームセンターについての一次評価についての説明は以上でございます。一次評価の結果に対して、委員の方々からご意見・ご質問等ございましたら、ご発言をよろしくお願いいたします。</p> <p>こちらも特に、皆さんからご意見はなさそうでしょうか。それではカヌー・スラロームセンターは以上とさせていただきます。</p>

所管局一次評価【大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場】

発言者	内容
小池部長	<p>続きまして、大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場の一次評価の結果について、事務局からご報告させていただきます。</p>
武田課長	<p>続きまして、資料4「大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場」について説明させていただきます。</p> <p>一次評価の結果ですけれども、標準点30点のところ35点の得点、一次評価の結果としましてはBという評価となっております。</p> <p>こちらの財務状況についてですけれども、経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されているということで、ご確認いただいております。</p> <p>また、こちらの施設も特命の施設となっておりますので、特命要件の継続状況についても確認をしております。こちら、公園の管理者と一体となって、維持管理の一本化などによって運営の効率化を図るためには、引き続き公園とも一体的に管理運営していく必要があるというところで、確認をしております。</p> <p>続いて資料の左手の「管理状況」についてご説明します。まず「適切な管理の履行」の「(5) 人員配置」についてですけれども、東京2020大会におきまして、試合前後の点検の実施の対応や、緊急対応に備えまして、早朝から夜間まで技術職員を常時配置するなど、シフト体制を構築して対応したといったところが評価のポイントとして挙がっております。それから、「(7) 施設の提供について」につきまして、こちら優先受付において、大会後に初めて施設を利用する団体に配慮しまして、施設見学会を実施してご案内に努めたというところがございます。その結果、施設運営計画の目標を上回る大会の誘致に成功してきたというところが評価のポイントとして挙がっております。</p> <p>また、こちら「適切な財務運営・財産管理」の「(2) 経理処理」につきましては、事務処理の電子化に取り組んだといったところが、優れた取組として評価されているところでございます。</p> <p>その他の、「事業効果」のところに関してはすべて水準どおりという評価となっております。</p> <p>説明は以上になります。</p>
小池部長	<p>簡単ですが、大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場の一次評価の説明をさせていただきました。この一次評価の結果につきまして、委員の先生方からご意見・ご質問等ございましたら、ご発言をよろしくお願いいたします。</p> <p>こちら手も手が挙がらないようですので、ホッケー競技場につきましても、説明は以上とさせていただきます。</p>

所管局一次評価【東京アクアティクスセンター】

発言者	内容
小池部長	<p>続きまして、施設最後になりますが、東京アクアティクスセンターの一次評価の結果につきまして、事務局から報告させていただきます。</p>
武田課長	<p>こちら資料4「東京アクアティクスセンター」に則って説明させていただきます。</p> <p>一次評価の結果ですけれども、標準点30点のところ37点の得点となっております。その結果、一次評価といたしましてはBという評価となっております。</p> <p>財務状況につきましては、経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されているということで、ご確認いただいております。</p> <p>資料左側の「管理状況」ですけれども、「安全性の確保」のところの「(1) 施設・設備の安全性の確保」ですけれども、こちらに関しましては、日常の点検業務に加えまして、東京2020大会におきましては、大会中に発生したトラブルといたしまして、サブプールの排水管の水漏れというのがございました。こちらの事象に対しても迅速に対応して、サブプールは選手の練習会場なのですけれども、支障がないように対応して、円滑な大会運営に貢献したといったところが評価のポイントとして挙がっております。</p> <p>それから、「事業効果」のところに関しましては、「事業の取組」のところの「(10) 新型コロナウイルスへの対応」ですけれども、東京2020大会期間中、こちらの職員に関しましては、組織委員会が設定したバブル内ということで、実際にスクリーニングした人しか入れないということですね、そうしたところで業務を行う必要性があったのですけれども、感染症対策ということで、毎日PCR検査の受検とか、館内の行動制限といったところに、十分に協力して、安心安全な大会運営に貢献したといったところを評価のポイントとして挙げさせていただいております。</p> <p>私の方からの説明は以上になります。</p>
小池部長	<p>ただ今の東京アクアティクスセンターの一次評価の結果につきまして、委員の先生方から、ご意見・ご質問等ございましたら、ご発言をお願いいたします。</p> <p>お手は挙がっていらっしゃいませんかね。では、アクアティクスセンターの件は以上とさせていただきます。</p>

所管局一次評価【全体を通しての質疑】

発言者	内容
小池部長	一応今、5つの本日もご審議いただきます一次評価の結果についてご報告をさせていただきますましたが、以上の一次評価5施設全体を通じまして、各委員の皆様から何かご発言等ございますでしょうか。
守泉委員長	すみません、守泉ですけれども。 感覚的な問題かもしれないのですけれども、評価の内容のところ、結構、ここここ、っていうのを一杯書いてあるにもかかわらず、実際の評価が二重丸になってなくて全部普通の丸になってたりとかっていうのがあります、その部分というのは、評価の部分の程度問題ということによろしいのでしょうか。
武田課長	そうですね。評価のところに関しましては、基本的に、例えば新規恒久施設に関しましては、東京 2020 大会期間中の管理運営業務というところがポイントになってくるのですけれども、ここは実際の、施設で定められている維持管理の水準があるので、そこと比較して、結果的にそれを上回るような形で業務を行っていたりとか、そういったところがあるものに関して二重丸で評価しております。また、各施設の積極的な取組に関しては、評価の内容に記載を挙げているように、報告すべき事項に関してはとらまえさせていただいて、積極的な部分についての評価というのはさせていただいているつもりではございます。
守泉委員長	例えば、カヌー・スラロームセンターの(1)の個人情報保護の取組のところで見ると、プライバシーマークをやっていたところと、まあ事故がないってところで、そこで普通は標準だと思うのですけれども、それに対して、ISOの方の基準のやつを取りにいつているっていうと、これって結構、普通で行けば水準を上回るという風に考えても良いんじゃないかなと思うのですけれども、このところに関しては一重丸なので、ということはISOの基準の部分はそもそも水準の範囲だっという考えなんですかね。
武田課長	個人情報の取組としましては、ここの部分は優れたポイントだとは思いますが、個人情報の取組全体として見た場合では、この一部を取ってのみでは二重丸にはしていない、ということかと思えます。
守泉委員長	そうだとすると、例えばここの部分でいくと、二重丸にするにはISMSまで取らなきゃいけないだとか、そこまでを要求するっていう風に考えるということなんですかね。
小池部長	今日は新規恒久施設の話させていただいておりますけれども、昨年度、今日ご審議いただいている5施設は、すべてではないですけれども、アーチェリー場とか一部再開業しているものもありますけれども、まだ去年はすべて東京 2020大会の競技会場になっていたという状況もありますので、若干今までの既存施設とは扱いが違って、実際にここを利用しているそれぞれの個人の顧客の管理とか、そういうことをしていなかったという点もありますので、そういった点で

	<p>評価を高めに出していない、というような判断も一つございましたので、そういったことを含めて、先生方からご意見も頂戴できればと思います。</p>
守泉委員長	<p>分かりました。</p>
小池部長	<p>先週、小海先生から全体の稼働率みたいなこととお話ししていただきましたので、今日ご審議いただく新規恒久施設の全体スケジュールのようなものを事務局の方で参考に用意をさせていただいております。それを見ていただきますと、昨年度ほとんど、一般的には供用していないという状況を見て取れるようになっているかと思っておりますので、そこを踏まえまして、去年はそういう状況の中で、5施設につきましては、各施設の評価をしていただくということになりますので、個々につきまして見ていただければと思います。それを含めて、この後各施設からもプレゼンテーションといったところになりますので、その中身を含めまして二次評価に進めさせていただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
武田課長	<p>それについて、少しだけ補足をさせていただければと思います。</p> <p>今、小池部長からお話ありましたけれども、新規恒久5施設は令和元年度のところなのですけれども、年度当初から東京 2020 大会の準備といったところから入っております。それから、7月・8月のところでは東京 2020 大会の本番、終わった後には組織委員会の仮設物の撤去、都の改修工事というところが入っております。そのため、ほとんど、一部のところでは先ほど申し上げた、プレゲームトレーニングとか、代表選手による利用というところもありますのですけれども、一般の利用に供していないという施設がほとんどでございます。そのため評価に当たりましては、東京 2020 大会への協力といった項目に関して重点的に評価をしているといったところでございます。先ほども少し説明させていただきましたけれども、管理状況のところでは、適切な管理の履行、それから安全性の確保とか、あと新型コロナウイルスへの対応ということで、通常の維持管理業務の範囲を超えた取り扱いを行って、円滑な大会運営に貢献した場合の取組というところを評価させていただいて、一次評価としてまとめているといったところでございます。ということで、通常の、既存の施設とは若干取り扱いの違いがあるところではございますが、指定管理者のこれからのプレゼンテーションを含めて、先生方には評価をしていただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
小池部長	<p>ただ今の補足を含めまして、何かご発言ありますでしょうか。</p> <p>先生方から事前にご質問もいただいておりますので、この後各施設のプレゼンテーションの中で、ご発言なければ、そこで改めてご質問いただいてご回答させていただくこともあろうかと思っております。よろしく願いいたします。</p> <p>一回ここで休憩させていただきます。ありがとうございます。</p>

指定管理者によるプレゼン、質疑【海の森水上競技場】

指定管理者：海の森水上競技場マネジメント共同企業体

発言者	内容
小池部長	<p>それでは、議事を再開させていただきます。</p> <p>これから、海の森水上競技場ほか4施設につきまして、指定管理者によるプレゼンテーション、質疑及び繰り返しになりますが二次評価の審議を行いたいと存じます。それではまず最初に海の森水上競技場の指定管理者の皆さんに入室を許可いたしますのでよろしくお願いいたします。</p>
	<p>＜海の森水上競技場指定管理者オンライン入室＞</p>
事務局	<p>それでは、指定管理者によるプレゼンテーションになります。プレゼンテーションの時間は 10 分間、時間厳守でお願いいたします。プレゼンテーションの後に質疑の時間を5分ほど取りますので、よろしくお願いいたします。残り3分のところでベルを1度鳴らします。また 10 分たちましたらベルを2度鳴らしますので、その時点で終了とさせていただきます。それではこれからプレゼンテーションをよろしくお願いいたします。</p>
施設職員	<p>それでは、海の森水上競技場からご説明をさせていただきます。</p> <p>まず画面の方をご覧いただきたいと思うのですが、シートのご説明をさせていただきます。令和3年度は東京 2020 大会が実施、また開催に向けての準備を重点として、運営をまいりました。また大会終了後の運営を見据えた施設の管理運営を中心に行ってまいりました。特に今も第7波ということで新型コロナウイルスの感染対策を踏まえ、当該施設を利用する方々に安心安全にご利用いただけるよう運営をまいりました。特に令和3年度は水上競技場施設の管理、また施設の提供、スポーツ振興事業の、この3点を重点に運営をまいりました。</p> <p>それでは「水上競技場施設の管理」について、ご説明させていただきます。まず東京 2020 大会の期間中は施設設備の不具合など競技運営に支障が出ないよう、我々JV4社でやっておりますが、本社本部の協力を得ながら 24 時間体制で実施いたしました。特に大会期間中は、大きな問題等も発生せず無事に終了いたしました。</p> <p>また、東京 2020 大会の競技開始時間までの限られた中、ボートやカヌーの競技というのは朝早く、昼には終わってしまう競技になっておりまして、早朝の限られた時間において、競技コースの水面清掃を実施しました。特に早朝、日の出とともに選手が朝の7時にはもう競技コースに出てしまいますので、それまでに競技コースの清掃等をしっかり管理をさせていただいております。その結果、各競技団体からもしっかりと清掃等行き届いているというような評価をいただきまして、非常にありがたいお言葉をいただいております。</p> <p>また、東京都や組織委員会と調整をさせていただいて、暑熱対策としてミストシャワー装置を設置いたしまして、期間中の稼働を行いました。また、ただミス</p>

	<p>ト装置だけではなくて、プランターと花壇と組み合わせることによって会場に彩りを与えることができました。実際このミスト装置でございますが、非常に期間中暑かったものですから、こういうようなミスト装置を設置いたしまして、選手また競技関係者の皆様に喜んでいただきました。</p> <p>続きまして、「施設の提供について」というところになります。こちらは大会後の開業に向けたものになっておりますが、競技団体や大会の開催の働きかけや、水域の利用ができる団体への営業を行いました。特に競技団体だけでなく、東京都が示しているユニークベニューの有効利用の観点から、音楽イベントやその他団体の利用を促すような誘致を行っています。特に令和4年度の利用促進に向けカヌー4件・ボート4件・トライアスロン2件という申込みが3年度時点では決まっておりますが、令和4年度4月の再開業に向けて音楽イベント、クロフェスというものですけれども、実施を一緒にしてもらおうことになりまして再開業と一緒に盛り上げることとなりました。</p> <p>次は「事業効果」のところになりますが、「スポーツ振興事業の実施状況」についてです。スポーツ振興事業といいますがオリパラ大会の方が中心になりますが、先ほども繰り返し申し上げましたが、東京2020大会については早朝利用ということで、管理者の早朝勤務をずっと実施しておりました。感染予防対策を徹底的に実施しました。また組織委員会からの要望を踏まえ、競技に支障のある場合の恒久施設を想定し、24時間体制で実施しました。早朝シフトを組んで、オリパラ大会の前に、5月にボートのアジアオセアニア大陸予選が実施されまして、こちらについても早朝シフトを組み柔軟に対応させていただいております。</p> <p>また「利用者の満足度」のところではございますが、このオリパラ期間中、令和3年度については、特にアンケート調査等々は一般のお客様のご利用がありませんでしたので、利用のアンケートは直接は取れませんでした。今回は東京2020大会後に近隣4区ですね、江東区・江戸川区・大田区・港区を対象にインターネットによるアンケート調査（ネットリサーチ）を実施しまして、利用者のニーズを把握させていただきました。</p> <p>また「その他」の項目ですけれども、港湾局の海上公園課が事務局を担っています海の森倶楽部に、私共の団体が加入させていただきまして、海の森公園と海の森水上競技場との連携イベントなどが活性化されるよう連携を深めております。</p> <p>今回皆様ご存じとは思いますが9月23・24・25日に海の森公園と水上競技場を会場とした音楽イベントを実施することになりまして、調整をしているところです。以上、海の森水上競技場から報告をさせていただきました。</p>
小池部長	<p>海の森水上競技場の皆さん、ありがとうございます。それでは、ただ今のプレゼンテーション及び施設運営等につきまして、委員の皆様方からご質問・ご意見等ございましたら、ご発言をよろしくお願いいたします。</p> <p>守泉委員長お願いします。</p>
守泉委員長	<p>先ほど早朝の準備というのが非常に重要だという風にお話を伺ってなんです</p>

	けれども、そうなると関わった方達の勤務体制っていうのが、どのような形でワークライフのバランスを作っていたのでしょうか。
施設職員	はい、全員が朝早くという体制ではなくて、2名から3名なんですけれども、夜間宿直を兼ねた泊まりをしまして、夕方の5時半から翌朝の8時半までを勤務といたしまして、朝になったら帰るといったような勤務体制をとりました。 また昼間は通常の8時半～17時半という勤務をとりまして、何班かに分けて運営をさせていただきました。
守泉委員長	そうすると夜間の残業が増えたということですか？この1か月。
施設職員	夜勤という体制ではなくて、宿直という形で1時間休憩で4時間は仮眠という時間をとりまして、残業という形ではなくて宿直という体制で運営をさせていただいております。
守泉委員長	仮眠（待機）は勤務時間に含まれるというような形だと思うんですけども。そのあたりのところはどういう調整なんですか。今のお話ですと、それって許されるの？と思うんですけども。
施設職員	「夜間宿直を兼ねた泊まりをしまして、夕方の5時半から翌朝の8時半までを勤務」とお伝えしておりましたが、誤りでした。 実際の勤務時間は21時から翌朝9時までの勤務となっております。また法令に基づき夜間の割り増し賃金も支払われておりました。
守泉委員長	はい、ありがとうございました。
小池部長	はい、他の委員からのご発言でございますでしょうか。はい、上代先生お願いします。
上代委員	はい、ご報告ありがとうございました。1点お伺いしたいんですけども、こちらの施設、競技そのもの以外にも、客席であったり、それに付随してレセプションルーム、パーティができるような施設もあるということで、拝見したんですけども、競技プラスアルファのものってどれくらい稼働しているのでしょうか。
施設職員	昨年？
上代委員	そうですね。
施設職員	昨年は年間を通してオリパラの組織委員会のご利用がございましたので、オリパラファミリーのご利用が期間中ありました。
上代委員	オリンピック以外では？
施設職員	実際はお客様を迎えるのが今年の4月からになっていたんですけども、その期間中は水上競技場を視察に来た方には施設のご案内をしてご覧いただいたりといったことが中心となりました。
上代委員	分かりました、ありがとうございました。
小池部長	他にご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは他にご質問がないようでしたらこの後の審議に入りたいと思います。海の森水上競技場の皆様、ここまでプレゼンテーションしていただきましてありがとうございました。
	<海の森水上競技場指定管理者オンライン退室>

二次評価の審議【海の森水上競技場】

発言者	内容
小池部長	はい、それではですね、海の森水上競技場の審議に入りますが、ここからの審議は守泉委員長に交代させていただきますので、よろしくお願いいたします。
守泉委員長	はい、ありがとうございました。それでは、海の森水上競技場の二次評価案につきまして、まず事務局よりご説明をお願いいたします。
武田課長	<p>では資料6に沿って説明させていただきます。まず「管理状況」のところですが、設備面で困難な管理箇所が多い中、利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って適切な管理運営が行われているという点が評価として挙がっています。それから2点目のところです。東京2020大会のために設置された施設として、大会時に組織委員会の求めに応じた対応によって、大会の円滑な運営に貢献したといったところが挙がっております。</p> <p>「事業効果」の面ですけれども、こちらも大会の関係で、オリンピック・パラリンピック会場として適切に事業が行われた点や、現状は団体利用が中心となっているようであるが、最先端の技術が導入された施設であり、観客席、ラウンジなどの設備もあることから貸施設業での収入が見込まれると。今後もそういった自主事業を多く実施されることを期待されるということが挙がっております。</p> <p>それから「特記事項」のところ。「特に評価すべき点」は、利用者の安全な利用を心がけた保守点検が行われている点、大型スポーツイベントがスムーズに開催できるような管理運営がなされている点が挙げられております。また「改善が望まれる点」としては、自主事業を積極的に展開すべきというところとか、HPによってバリアフリー情報をもっと分かりやすく発信すべきという点が挙げられています。こちらの「今後取組むべき点」も同様な対応が挙げられているということでございます。説明は以上でございます。</p>
守泉委員長	ありがとうございました。それを受けまして、評価のことなんですが、海の森水上競技場につきましては4人がB評価、1人がA評価となっております。当初の一次評価がBという中で、評価を調整させていただきたく、まずA評価とされている上代委員の方に、評価の理由についてお伺いしたいんですが、よろしいでしょうか
上代委員	はい、私がAを付けた理由は、必要最低限の競技の運営っていうのはここはきちんと管理運営としてなされているんだろうなと思った上に、ラウンジがあったりとかプラスアルファのことをやってるのではないかなというように、あちらに行ったときも説明があったので、A評価を付けたんですけど、今再度質問しても、あんまりその部分を管理者さんとしても注目していないのかなと。プラスアルファの使い方は色々できると思うんですけど、そういうところにあまり着目していないのかなと思ったものですから、B評価にさせていただければと思います。

守泉委員長	<p>ありがとうございました。実際上代委員のおっしゃってるところっていうのは、令和4年度になってすごく効果が出てくる部分だと思ひまして、私がさつき労働問題の話をしたのは、実際海ということを使っていくとなると、かなり早朝に、夜間の段階から入って行って、準備をしなきゃいけないんですけど、今度は音楽となってくると夕方から夜間という形になってくると勤務体制が全く逆転するんですね。そういうのを複合的にあれだけのものを作っていくとなると、一体どういふような就業規則を作ってやっているのかなというのが非常に興味があると同時に、かなり大変なんだと思ひますよね。その部分が非常に機能してくると、上代委員がおっしゃったみたいなのが非常に評価できるということで、準備はおそらくできてるかと思ひますけれども、それがまだ実績として示されなかったというところで、おそらくあまりその辺のところをお答えできなかったのかなという風に思われます。</p>
上代委員	<p>あとはすみません。守泉先生の時の質問の返答でもちょっと感じたんですけども、今回発表なさってる方が、実はちゃんとシフト組んで労働基準法守ってるとかしてたのも、実はこうやってたっていうのも、ご存じない部分っていうのが若干あってのご発言なのかなと思ひましたんですけど、どうなんでしょうか。</p>
守泉委員長	<p>そうですね、その辺って担当者の方がどうやるのかね、シフトを組む時に、私も就業規則を作ったりする時あるんですけど、こういう勤務の場合どうやって残業させないような形で合法的に作っていくのに、普通に何交代ってやっていっても夕方から夜間の勤務もあるし、かなり大変だと思ひますよ。そのところをパッと答えられなかったのかなというところがちょっと不思議だなということはありません。</p> <p>そういうこともありまして、結果としてBということによろしいでしょうか。</p> <p>はい、ありがとうございます。ただ今のご意見いただいた内容も踏まえまして、評価を一次評価と同じBということにさせていただきたいと思ひます。</p> <p>よろしいでしょうか。ありがとうございました。それではまたお返しいたします。</p>
小池部長	<p>ありがとうございました。</p>

指定管理者によるプレゼン、質疑【夢の島公園アーチェリー場】

指定管理者：アメニス夢の島グループ

発言者	内容
小池部長	<p>それでは、進行を先に進めさせていただきまして、夢の島公園アーチェリー場の指定管理者によるプレゼンテーション、質疑及び二次評価の審議に進ませていただきます。</p>
	<p><指定管理者オンライン入室></p>
事務局	<p>それでは、指定管理者によるプレゼンテーションになります。プレゼンテーションの時間は 10 分間、時間厳守でお願いいたします。プレゼンテーションの後に、委員からの質疑の時間を 5 分ほど取っておりますので、そちらの方よろしくお願いいたします。プレゼンにつきましては残り 3 分のところでベルを 1 度鳴らします。また 10 分たちましたらベルを 2 度鳴らしますので、その時点で終了となります。それではプレゼンテーションよろしくをお願いいたします。</p>
施設職員	<p>はい。では夢の島公園アーチェリー場の令和 3 年度の管理運営状況についてご説明します。まず大項目「管理状況」というところのご説明をします。中項目「適切な管理の履行」というところで、確認項目として「施設・設備の保守点検」というところです。芝刈り作業や定期設備点検など、管理運営基準に則り、必要な維持管理業務を実施しました。また、東京 2020 大会においては、大会組織委員会と密に情報連携を図り、早朝における、具体的には朝 4 時半からの芝刈りを実施しました。大会日程を踏まえた柔軟な対応を行って、大会運営に全面的に協力させていただきました。</p> <p>2 点目の修理・修繕というところでは、東京 2020 大会前に発生した、結構滝のような雨漏りがあったんですけども、これにつきましては施工業者と連携の上、迅速な修繕対応を行いました。会期中は降雨もあったんですけども、大会への影響は発生しませんでした。また、射場の舗装が白華現象をかなり起こしておりまして、美観や反射の影響などが課題となりましたけれども、除去作業を断続的に実施し、東京 2020 大会前には対応を完了し、円滑な大会運営に貢献しました。</p> <p>「人員配置」というところでは、夢の島公園、夢の島熱帯植物館と同一の指定管理者で運営を行っており、去年の 10 月 31 日の再開業イベントにおいては、芝の保全や車の整理など公園管理の基本的なことから、植物館の展示物を活用したり、テントやディスプレイの設営に至るまで、グループの強みを活かして、利用者満足度の向上に繋げることができました。また、日常的な管理運営においても、電話対応など、両方で連携の上、適切に対応をしました。</p> <p>次に「施設の提供について」というところなんですけれども、上半期は、東京 2020 大会を控えた制限があった中、大会組織委員会の大会準備・運営に協力して、会場の良好な維持に努めたということです。下半期は、10 月 31 日の再開業</p>

イベントを境に、一般供用を開始して、既存のアーチェリー団体の利用に加えて、自主事業の展開やその他のスポーツ、例えば東京都フライングディスク協会さんの大会などの誘致を行うなど、それぞれのニーズに合わせた会場の提供を行いました。

続いて「施設の清掃」というところでは、清掃作業基準に則って、日々の清掃作業及び点検を実施し、報告を行いました。

次に「施設・設備の安全性の確保」という点では、上半期は大会がありましたので、仮囲いがあったんですけども、下半期はそれが撤去された中で、アーチェリー団体使用時の安全対策の実施というのが1つのテーマとなっていて、それと一般開放時の自由な芝生広場の提供という二律背反する面を両立させていきました。

続いて「防災への配慮・緊急時対策」というところでは、2月24日に公園、植物館と合同で通報訓練・避難訓練を実施しました。最終避難場所をアーチェリー場とした中で、避難訓練終了後、火災を想定した消火訓練を実施したということで、実際に消火器を持ってやりました。

続いて「法令等の遵守」というところでは、「都への報告・連絡」というところで、東京2020大会期間中、選手送迎の運行バスが、公園の園路際の擁壁と接触する事故が発生しました。ただこの点も東京都に速やかに報告し、指示を仰ぎました。大型台風はなかったんですけども、気象災害では、台風や降雪時などの施設損傷の有無などを適切に報告しました。

続いて「事業効果」というところで、「利用状況」です。東京2020大会の他、全日本アーチェリー連盟、東京都アーチェリー協会、関東学生アーチェリー連盟等で15試合、22日間実施をしました。前年比においては試合数で166.7%、稼働数で129.4%です。コロナ感染症が爆発的に増加する中、感染症対策を徹底して実施しました。大会実施日以外では、芝生広場として、広く公園来場者に利用いただきました。

次に「事業効果」の「事業の取組」というところでは、「自主事業の実施状況」というところで、10月31日新規恒久施設で最初となる再開業イベントを実施いたしました。天候には恵まれなかったものの、良好なアンケート結果をいただきました。また、夢の島熱帯植物館と連携して、ハロウィンにちなんだお化けカボチャをイベント会場に設置し、フォトスポットとして活用するなど好評を得ました。これは290名の方に参加をいただいたということですね。この後コロナの感染症が非常に1月・2月は拡大しまして、自主事業もできない状況でしたけれども、3月に入って、3月25日に青空ヨガ教室を実施しました。3月30日にフライングディスク体験教室を実施しました。3月以降、キッチンカーを招聘し、2社の自動販売機を設置することで、利用者サービスの向上を図っております。

1番最後、「事業の取組」というところで「新型コロナウイルスへの対応」。大会・イベントでは、検温の実施、体調管理シートの提出、アルコール除菌の徹底、コロナ見守りサービスへの登録案内など、基本的な注意事項をもれなく実施し

	<p>て、新型コロナウイルスの感染予防に努めました。こちらがアーチェリー以外の活動報告になっています。1番上がオープニング体験会というところで、アーチェリー・ミニアーチェリーに加えて、フライングディスクやタッチラグビーなど幅広いスポーツを実施・紹介しました。昼から雨が降ってきて、あいにくの天気だったんですが、利用者の満足度は高められたと思います。3月25日、親子で楽しむヨガ教室を実施しました。これも参加者には非常に満足をいただいたということです。3月30日に、フライングディスク体験教室ということで、こちらも3月に実施して、懇意にしている東京都フライングディスク協会さんの協力を得て実施しました。こちらも参加者には満足をいただいております。続きまして3月26日・27日にキッチンカーを招聘ということで、出店の位置や向き、それと事前のPOPでの告知ということ、看板の位置の改善を図って、継続して今でもキッチンカーを呼んでいるんですけども、継続してブラッシュアップして現在に至っております。以上で夢の島公園アーチェリー場の発表を終わりにいたします。</p>
小池部長	<p>夢の島公園アーチェリー場の皆さん、ありがとうございました。それではただ今のプレゼンテーション及び施設運営等につきまして、委員の皆様方より何かございましたら発言をお願いいたします。</p>
守泉委員長	<p>2点あるんですけども1点目としましては、大会終了後、比較的速やかな形で通常の利用という形に繋がられたということの努力というか理由に関して、どういものが挙げられるのかっていうのが1点目。それから2点目としましては、パラリンピックの会場として、十分に使われた部分もあるんですけども、そういう意味で障害者のアーチェリーという形で、現在どのような施策をやっている、ないしはやる予定があるのかということをお聞かせいただければと思います。</p>
施設職員	<p>はい、10月31日以降のスムーズなオペレーションに関しては、比較的12月までアーチェリーの予約が入っておりまして、それをこなすことで精一杯だったんですけども、一応何とかなったということです。</p> <p>それから障害者のアーチェリーに関しては、大会中は、非常にオリンピックの予選の情報をパラリンピック側に伝えたりとか、そういったこまめな対応をしていたんですけども、実際に開放されて、いつでも空いておりますのでご利用くださいというようなお声がけはしております。ただお声がけだけではだめなので、具体的にこの日なら空いていますよというようなことでお伝えをしようかと思っております。</p>
丸山委員	<p>ありがとうございます。昨年、一度施設を見学させていただきましたが、芝生の利用で、フライングディスク以外にどんなスポーツがありましたでしょうか。参考までに教えていただきたいと思います。</p>
施設職員	<p>まずタッチラグビーなんですけれども、確かに10月31日には、お試しということで使っていただいたんですけども、実際にグラウンドに来ていただいて、デコボコが激しいということで、なかなか試合には使えないなということでご意</p>

	見をいただきまして、フライングディスクですと、東京都と日本と2つ大きな団体があるんですけども、東京都の場合は十分だということでご利用いただけますけども、日本の方は厳しいということでご意見をいただいております。
丸山委員	厳しいというのはグラウンドが悪いということですか。
施設職員	そうですね、はい。
丸山委員	なるほど。それ以外のスポーツで何か使ったりという経験ありますか？
施設職員	そうですね、お声がけはしているんですけども、なかなか実現に至っていないというのが現状でございます。
丸山委員	なるほど分かりました。ありがとうございます。
小池部長	よろしいでしょうか。それでは他にご質問ないようですので、夢の島公園アーチェリー場の皆様ありがとうございました。
	<夢の島公園アーチェリー場指定管理者オンライン退室>

二次評価の審議【夢の島公園アーチェリー場】

発言者	内容
小池部長	<p>それでは、ここからの審議は引き続き委員長に交代させていただきます。守泉委員長、よろしくお願いいたします。</p>
守泉委員長	<p>はい、ありがとうございました。では、続きまして夢の島公園アーチェリー場の二次評価案につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
武田課長	<p>はい、また資料6に沿って説明させていただきます。</p> <p>まず「管理状況」のところですが、コロナ禍の中、東京 2020 大会施設として充実した管理を行い、大会の円滑な運営に貢献したといったところが挙がっております。それからアーチェリー場としてはもちろんのこと、普段は公園の芝生広場として利用されており、スポーツ実施者以外の利用についても考慮した管理運営がなされているといったところ。それから東京 2020 大会期間中と大会後の一般開放に向けてメリハリをつけた管理を実施し、都民の利用促進を図っているといったところが評価として挙がっております。</p> <p>「事業効果」についてですが、施設運営計画の目標である年間 20 大会に対し、再開後の5か月間において、コロナ禍におけるイベント自粛やアーチェリー競技のオフシーズンもある中、18 件の団体利用の実績を上げた。また、体育施設利用料収入は計画を上回る収入を達成した、といったところが評価として挙がっております。</p> <p>下段の「特記事項」のところですが、「特に評価すべき点」というところに関しては東京 2020 大会期間中、通常の営業時間を超えて施設に駐在し緊急対応に備えたほか、本社や構成企業に人員応援を要請し増員対応した、といった点。それからレクリエーション等の利用団体と意見交換を実施しており、アーチェリー以外の利用についても考慮した管理運営が行われているといった点が挙げられております。また「改善が望まれる点」といたしましては、広大な芝生広場を利用した自主事業をより積極的に展開すべきといった点が挙げられているほか、HP のバリアフリー情報をもっと分かりやすく発信すべきという点が挙げられております。「今後取組むべき点」も自主事業のより一層の企画といったところ、それから SNS での情報発信といったところが挙げられております。説明は以上でございます。</p>
守泉委員長	<p>はい、ありがとうございました。それでは、夢の島公園アーチェリー場の評価につきまして、5分程度で調整させていただきます。委員の皆様、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>夢の島公園アーチェリー場につきましては4人がB評価、一次評価はB評価なんですけれども、で私がA評価となっています。私がA評価とした理由について、簡単に説明させていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>まずこの施設というのが、他の施設と違ってほぼ唯一、大会終了後、一般の</p>

	<p>利用というのにすぐに繋げていった施設だという点があることで、その両方の評価というのできるのではないかというのが1つであります。その一方で、まず大会の方なんですけれども、屋外の施設で屋内と比較にならない部分はあるんですけれども、オリンピックとパラリンピックがほぼ同じ条件でやることができ、その両方に関して、うまく対応したということがあります。それから後半部分のところに関して、一般利用で実はここのところって芝生を先ほども話があったように、維持をきちんとやっていくのがなかなか地域の問題なのか分からないんですけれども難しい部分はあるんですけれども、いち早くアーチェリーの聖地を残すということがあって、多くの大会にすぐにコロナ禍にありながら移行したという点が挙げられます。ただその一方で先ほどのところであったように、本来アーチェリーは車いすであっても健常の方であっても全く同等の形で勝負ができるので、そういう面では色んなミックスの方法や新しいこと色々と考えられるかと思うんですけれど、そこまで少し至っていなかったなというところが少し残念だなという点もありまして、皆さんのB評価というところに結果として合わせたいと思うんですけれども、もう少し得点の部分が、事業の評価の部分で二重丸がもう少しあったほうが良くて、もう少し点が欲しいなというところが私の個人的な感想でございます。皆さんのご意見をお伺いしたいと思うのですが、よろしくをお願いします。</p>
小海委員	<p>よろしいですか。守泉先生の評価も分かるんですけれど、この場所がまだ見えていない部分があって、公園というか芝生の所って自由に出入りできるっていうことなんですかね。公園として自由に出入りできるようになっている形なんですか、すみません事務局への確認なんです。</p>
柏原部長	<p>事務局の開設準備の柏原です。こちらは通常の時是一般に開放された公園として利用しております。大会の時だけこちらを仕切りまして、会場として利用するという形になっております。</p>
小海委員	<p>アーチェリーをやっていない時は、普通にただの誰でも入れる公園っていうことですかね。</p>
柏原部長	<p>はい、基本は芝生広場として使っております。</p>
小海委員	<p>そうですね。そうするとそこでは収益は見込めないというか、収益はないということですか。</p>
柏原部長	<p>ただですね、先ほどちょっとありましたけれども、芝生広場であったとしても、そちらを使って例えばケータリングカーを呼んできたりとかですね、あるいはアーチェリーでないイベントをやるということは可能でして、そういった利用の方法については指定管理者に問題提起して取り組んでいただけるように話をしているところでございます。</p>
小海委員	<p>報告にあった一次評価の時の収支状況で、確かに予算よりも上がっているんですけど、アーチェリーがほとんどだとは思いますが、収支状況の報告で、体育施設利用料が元々少ない24万円程度の計画が64万円に、でも64万円しか入ってこないという見方もできると思うんですよね。あと自主事業の方が収入が</p>

	<p>ほとんどなくて、オープニングイベントは多分お金は取ってないですよ。自主事業のフライングディスクも6人、ヨガも3人しか参加していない状況で、結局支出が70何万円出ているのを見ると、どうやってあの施設を使っていくのかなというのがすごい疑問というか。守泉先生が言われたアーチェリーの聖地としてそこを管理してちゃんと運営するっていう意味では全然、指定管理としては問題ないとは思っています。ただ広場自体の今後の活用方法がいまいち見えてないところがあるので、それは指定管理の方にあまり投げてみつきいのかなという気もして、Aというのはどうなのでしょう。すみませんよく分からない説明なんですけど、以上です。</p>
守泉委員長	<p>ありがとうございます。他にご意見をお伺いできればありがたいんですが、いかがでしょうか。</p>
上代委員	<p>よろしいですか。私もこの芝生広場の使い方がキーになってくるのかなって思った時に、自主事業をやってないわけではないんだけど実はそれがニーズには合っていないのかなって部分も、その参加人数とかだけを見ると思ったものから、そこを工夫しないでこのまま突っ走っても、結局同じ状況のままなのかなと。それに対する工夫とかっていうのが見られなかったものから、必要最低限はやっているってことでB評価にしたんですけど、やる努力はされてるけどその方向性、どうやってやっていこうかっていう部分を再度検討していただいた方が良いのかなと、思っております。</p>
守泉委員長	<p>ありがとうございます。貴重なご意見だと思います。他にありますか。よろしいでしょうかね。私も基本的にAでなければいけないわけではないので、結論としてはBという形でさせていただきたいと思います。あと、アーチェリーなんですけれども、例えば初心者を中心にしたような教室といった時に、現実問題として今まで東京でやれる場所がなかなかなかったんですね。そうすると千葉だとか埼玉だとかに行かなければいなくて、そういう面ではここでもしもそういう広がりを見せるということのできるのであれば、非常に貴重な場所ではあるんですけども、今後オリンピック・パラリンピックの後で、どこまで集客ができて、またそれだけに集中していいのかっていうのは管理団体が迷っているところかと思うので、先ほどの上代先生のご意見も踏まえて、方向を明確にするようにということをつけ加えさせていただければよろしいのかなと思いますがいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
上代委員	<p>すみません1点だけ、そういう意味でいうと駒沢とか世田谷にアーチェリー場、弓道場兼なんですけれども、取れないくらい大混雑しているんですよ。なのでその辺ちゃんと横の連携とれば使い勝手はあるんじゃないかなとは思っています。</p>
守泉委員長	<p>おっしゃる通りです、そうなんです。私も個人的に予約をしようと調べた時にそういう状況が分かっていたので、なんでもっと使えないのかなという部分は思っているところがございます。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
柏原部長	<p>事務局から追加でお話ししたいんですが、この夢の島公園アーチェリー場は基</p>

	本的に大会向けの施設でございます、一般的な練習での利用等は、元々施設を整備する時に予定はしていない施設でございます。
守泉委員長	おそらくそういうこともあって、何のことでやっていったらいいのかというところで悩んでいて、他のスポーツを入れたんだけど、大会ってなると芝が良くないってところで、現場ではある程度苦勞している部分かと思いますので、その辺はやはり裾野を広げる意味もあって柔軟に今後対応していただければなと思うんですけども、その辺はいかがでしょうか。
柏原部長	ただすみません、初心者向けの体験教室ができないというわけではないんですが、元々この設備のハードが大会を想定しているというところがあって、確かに指定管理者が困っているというのがあると思いますので、そこについては指定管理者とコミュニケーションをよくしながらやっていくしかないのかなという風に思います。
守泉委員長	すみません、余計なことで申し訳ありませんでした。 他にご意見はよろしいですかね。ありがとうございます。ないようですので、夢の島公園アーチェリー場の二次評価に関しては、一次評価案の通り、Bということでさせていただきたいと思います。 進行を事務局にお戻しさせていただきます。
小池部長	ありがとうございました。貴重なご意見を賜りましたので、都として検討しながら指定管理者と適切な方向に進むようにさせていただきます。よろしく願いいたします。

指定管理者によるプレゼン、質疑【カヌー・スラロームセンター】

指定管理者：株式会社協栄

発言者	内容
小池部長	<p>それでは、議事を再開します。</p> <p>これより、カヌー・スラロームセンター指定管理者によるプレゼンテーション、質疑及び二次評価の審議を行いたいと存じます。</p>
	<p>＜カヌー・スラロームセンター指定管理者オンライン入室＞</p>
事務局	<p>それでは、指定管理者によるプレゼンテーションになります。プレゼンテーションの時間は 10 分間、時間厳守でお願いいたします。プレゼンテーションの後に質疑の時間を 5 分ほど取っておりますので、そちらもよろしくお願いいたします。プレゼンにつきましては残り 3 分のところでベルを 1 度鳴らします。また 10 分たちましたらベルを 2 度鳴らしますので、その時点で終了とさせていただきます。それではプレゼンテーションよろしくお願いいたします。</p>
施設職員	<p>株式会社協栄のイシイです。限られた時間ですので抜粋してご説明いたします。</p> <p>はじめに、「施設・設備の保守点検」についてご説明します。保守点検については見える化の推進に努めました。具体的にはこれまでの管理で各設備機器のメーター自体に正常値の印をつける等、異常を確実に検知できる仕組みを構築してきました。加えて、昨年度は集積したデータのグラフ化等、視覚的にも状況が把握できるように努め、使用量の把握や分析、過不足のない薬剤発注など効率的な管理に結びました。特に屋外施設であることから天候等のコンディションに左右されることも多い為、データ分析をしながら計画的に且つ柔軟に作業を実施し、常に安全な施設環境を提供しました。</p> <p>また、常駐スタッフによる簡易修繕を積極的に行いました。令和 3 年度では次亜塩素ポンプの不具合対応やボートコンベアの初期の不具合対応等、メーカーに問い合わせをしながら自社で対応し経費を削減することはもちろん、設備機器への理解を深めることで施設の適正な管理に努めてまいりました。</p> <p>次に「水上競技施設の管理」について説明します。東京 2020 大会が開催されたことからハイレベルなレギュレーション管理の対応をしてまいりました。東京 2020 大会では、ミリ単位の水位調整や揚水ポンプ不具合時を想定した迅速対応など、ICF からの要求に対応すべく検討や訓練を重ね、時には組織委員会へ施設管理者として意見をさせていただく等、大会を支えてまいりました。</p> <p>また、水質の管理においては一昨年度から薬剤の専門企業も協力し、苔の抑制についてテストしてまいりました。そのテスト結果に基づき除藻剤を投入、管理をすることで東京 2020 大会時には親水基準管理と比較し大幅に苔を抑制することに成功し関係者から好評を得ることができました。水上競技施設の維持管理においては設備の不具合は即施設の休場に繋がってしまうことが多いことから、日</p>

常点検の徹底を図るとともに日頃から機器メーカーと連携をとることで極力常駐スタッフで対応できるよう備え、休場を抑制してきました。特に、ポートコンベアは海外製品であることから予備備品を追加購入し不具合時に備えました。

また、フィニッシュプールのオイルフェンスのたわみの調整や、利用者の必要箇所への屋外時計の取り付け、利用者動線の検討、整備及び柵の購入、それらに伴う資料作成等運営管理の枠を越え利用者が安全で利用しやすい水上競技施設の環境整備に取り組みました。

次に「施設の提供について」をご説明します。コロナウイルスにより、東京 2020 大会関連のスケジュールが多々変更になりましたが、組織委員会内の定例打ち合わせにも積極的に参加するなど、東京都、組織委員会、競技団体など関係各所と協議、調整をすることで、各所のニーズを反映しながら施設の条例に則り、施設提供を行いました。東京 2020 大会公式練習時においては、雷があった際に、施設管理者として組織委員会に進言、協議し、一時練習を見合わせていただくなど、安全に施設を提供しました。その後、その経験も踏まえ施設ピンポイントの予報が確認できる天気ウェブサイトと契約し、一定程度精度が高い天気予報表示などのご案内が事前にできるよう備えています。

現在、受付スタッフは常時英語対応が可能なスタッフを配置しております。東京 2020 大会時においては、PGT など海外選手が利用する全ての期間において、日本語と英語による場内アナウンスを実施しました。今後も海外業者の受入れや国内大会のみならず、世界規模の大型大会を誘致できるよう体制を維持していきます。

次に「安全性の確保」についてご説明します。施設点検においては使用するしないに関わらず日常点検を徹底することで重篤な不具合を未然に防いでまいりました。カヌー・スラロームセンターの競技施設はコンクリート部分が多く、コース周辺に軽微なクラックが多く発生しています。その中で重篤なものはないか、大きな不具合に繋がるものはないか、年 2 回、自社点検と専門業者の点検を実施し、データ化をしました。軽微なものは日常管理の中で常駐スタッフによる補修を進め、大きな不具合に繋がりそうなものは専門業者に補修を依頼することで大きな不具合を未然に防ぎ、安全に利用いただける取り組みをしました。

また、「防災への配慮・緊急時対策」としまして、地震、台風発生時に現場確認と合わせ、チェックシートを用いることで、もれなく迅速に確実な点検を行うようにしました。また、カヌー・スラロームセンターは突風が吹くこともあることから、屋外スピーカー設備を補強するための対策を講じました。

その他、全従業員が普通救命講習を受講したほか、AED についても実習を受け安全意識を高めました。

カヌー・スラロームセンターは一時滞在施設として指定され、災害時には活動していくこととなりますが、管理棟自体が大きくないことから、隣接する葛西臨海公園との相互連携は必須となります。そのことから葛西臨海公園、近隣施設、周辺地域、警察、消防との防災訓練に参加し、災害時の対応など地域と一体とな

	<p>って災害に備えました。</p> <p>コロナウイルスの対策としてガイドラインに則り、手指消毒の徹底など従来の対策を講じるとともに管理棟入口へ検温モニターを設置し、入場者自身で速やかに検温ができるよう対策しながらも、利用者が少しでもストレスなく利用いただけるよう取り組みました。</p> <p>次に「事業の取組」についてご説明します。令和3年度の自主事業は東京2020大会及びその前後の準備等工事のため大会関連事業、競技団体のトレーニング事業のみの実施となりました。プレゲームストレートニングやJAPAN トレーニングは、コロナウイルスの影響で日程や実施方法に大幅な変更が生じましたが、感染症対策や料金設定変更などの調整を綿密に組織委員会、東京都、日本カヌー連盟と実施しました。特にプレゲームストレートニングでは、コロナ禍での海外からの選手・関係者の受入れとなり、トレーニングスケジュールや選手の入替え、消毒、動線の工夫等細かく取り決め、その上で選手・関係者に理解いただきながら参加いただけるよう関係各所と取り組んでまいりました。</p> <p>また「利用者ニーズの把握」の取組としましては、カヌー経験者を対象としたアンケートや、関係する事業者へのヒアリング等も行いました。施設の一般利用がまだなされていないことや、コロナ禍であることも考慮し、ウェブで実施し、343回答を得ることができました。このアンケートからは曜日、時間帯、季節による繁閑の有無、また利用を希望される艇の種類等のデータを蓄積することができ、再開後の運用に活用したいと考えております。</p> <p>「利用促進への取組」としましては、施設ウェブサイトのリニューアル、PRや広報の拡大を図ってまいりました。活気のある施設を印象付けるため、写真や掲載情報を増やし、施設ウェブサイトを更新しました。また、施設利用者を増やすため、オンサイトで周辺連携の施策を進めました。</p> <p>「その他」の取組としましては、葛西臨海公園をはじめとする、近隣施設との連携強化に取り組みました。葛西臨海公園の花壇の写真撮影に、従業員がカヌー選手として参加し、連携して施設のPRに取り組んだ他、コロナウイルスで中止となりましたが、水仙まつりにカヌー・スラロームセンターとしてPRブース参加を計画しました。ほか、公園内飲食店事業者や泉陽興業、葛西臨海公園駅高架下商業施設Ff、JR東日本などと、連携チケットや相互割引、広報協力などに取り組み、エリア一帯で盛り上がる仕組みづくりに取り組みました。引き続き令和4年度についても取り組んでまいります。</p> <p>以上となります。ありがとうございました。</p>
小池部長	<p>カヌー・スラロームセンターの皆様ありがとうございました。それではただ今のプレゼンテーション及び施設運営等につきまして、委員の皆様から何かご質問・ご意見等ございましたら、ご発言をよろしくお願ひいたします。</p>
小海委員	<p>プレゼンありがとうございました。収支状況について2点ほどお伺ひしたいんですけど、1点目は指定管理者業務の収入で、その他の収入でちょっと大きな額、4,600万円強の報告があるんですけど、それが何なのかなというのが一つ。</p>

	<p>もう1つは自主事業の方で収入が700万円強で、支出が1,100万円強になって、これは先ほどご説明あったオリンピック関連のトレーニングのものだと思うんですけど、こういう自主事業で今回はそれなりの理由があって赤字かもしれないんですけど、今後の自主事業とか考える上で、ただ施設が施設なので、やっぱり使えば使うだけお金がかかるのだとか、その辺を教えていただければと思います。以上です。</p>
施設職員	<p>ありがとうございます。まず、指定管理業務のその他の収入というところでございますけれども、こちらについては組織委員会からですね、東京2020大会に関する電気使用料の方を指定管理業務が事業計画ができる前に電気料、まあ東京都さんで見込みを立てていた部分になりますので、実際に使われた分について組織委員会さんの方からお支払いをいただいたというところで、その他の収入のところで計上させていただいています。</p> <p>2つ目、自主事業についてのご質問でございますけれども、オリンピック関連の業務ということで、我々もそこは多少の赤が出てもちよっと今回だけは頑張ってお実施をしていこうというところでやったところでございますけれども、今年度、令和4年度以降についてはしっかり受益者負担ということも含めまして利用者の方からですね、料金を頂戴しながらしっかりその辺の部分を指定管理業務の管理費の方に充てられるようにしっかり集客をしながら、そういったバランスでやっていきたいと考えておりますので、今後は赤字で自主事業をやっていくということは特には考えておりません。以上になります。</p>
守泉委員長	<p>すみません。守泉の方から1点だけ。先ほど修繕履歴も含めて色んなデータを取ってるというような形と記録をしていることがありましたけれど、それに関してどのような形でデータベースで保存されて、今後に繋げようとされているのかということについてお示しいただければと思います。</p>
施設職員	<p>例えばクラックの調査。これ結構大きく色んな箇所が競技施設、コンクリートでできてるので本当に多数出ているんですけども、場所であったりとか大きさであったりとかそういったものを図面に落としながら記録しております。そのデータを見ながらこれは大きくなったよねとかそういったところで、しっかり我々で当然日常業務の中で修繕していけるものは修繕していきながら、ちょっと大きいものに関しては年1回、しっかりですね専門業者の方に見ていただきながら、これは大規模に修繕した方がいいですかという形で過去のデータをお示しながら、そういった形で相談をしているところになります。</p>
守泉委員長	<p>ありがとうございました。</p>
小池部長	<p>他の委員の方からご質問はございますでしょうか。質問ないようですので、以上とさせていただきます。カヌー・スラロームセンターの皆様ありがとうございました。それではカヌー・スラロームセンターの皆様にはここでご退室をお願いいたします。</p>
	<p><カヌー・スラロームセンター指定管理者オンライン退室></p>

二次評価の審議【カヌー・スラロームセンター】

発言者	内容
小池部長	<p>それでは二次評価に進みますので、ここからの審議の進行につきましては守泉委員長に交代させていただきます。委員長、よろしくお願いいたします。</p>
守泉委員長	<p>はい、ありがとうございました。それでは、カヌー・スラロームセンターの二次評価案につきまして、まず事務局より説明をお願いいたします。</p>
武田課長	<p>資料6に沿って説明させていただきます。</p> <p>まず「管理状況」のところですが、ろ過設備など困難な管理箇所が多い中、利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、評価水準通りに適正な管理が行われている、という点が挙げられております。</p> <p>それから一番下のところですね、東京 2020 大会時、組織委員会と綿密な打ち合わせを行いながら、大会の円滑な運営に貢献した。といった点が評価されております。</p> <p>それから「事業効果」のところですが、通年で東京 2020 大会の準備・開催・大会後の仮設物撤去等を行っていたが、プレゲームトレーニングや JAPAN トレーニングの実施に対応したところが挙げられております。</p> <p>今までカヌースラロームという競技に関しては、郊外の自然の中でのトレーニングを実施してきたところではありますが、最先端のトレーニングができ、かつアクセスの良い当施設を団体利用することが見込まれる。といった点が挙げられています。総合の評価案としましてはBとさせていただきます。</p> <p>「特記事項」についてですが、「特に評価すべき点」というところでは施設を清潔に保つ努力をしている点。それから、競技特性に沿った特殊な施設の管理がスムーズに行われているといったところ。利用実態に合わせて、ろ過設備の自動逆洗及び自動給水を手動に変更し、水道使用量を削減するといった点が評価すべき点として挙げております。「改善が望まれる点」は利用者を増やすためにも自主事業の展開について工夫すべきところ。アクセシビリティ設備情報だけでなく、各施設内や施設までの動線の情報を追加すべき。といった点をご指摘いただいております。「今後取組むべき点」に関しても今申し上げた改善が望まれる点と同様になっております。以上でございます。</p>
守泉委員長	<p>ありがとうございました。以上を受けまして、それでは、カヌー・スラロームセンターの評価について、5分程度で調整させていただきます。委員の皆様、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>内容のところ、第一次評価がBと。その中で、4人がB評価、1人がA評価となっております。A評価とされている上代委員、評価の理由について伺えますでしょうか。</p>
上代委員	<p>いつもすみません。A評価にした理由なんですけれども、こういう特殊な施設の中で管理運営に関しては最低限のこと以上のことをなさっているのかなと思</p>

	<p>っております。プラスアルファ、じゃあこういう中でプラス、どうやったら収入を上げていくといった時に自主事業の部分が出てくると思うんですけども、去年がオリンピックの関係で難しかったと思うんですけども、それに取り組もうとしているのは資料からも拝見することができましたので、なので、管理運営の部分でBプラス、自主事業の部分で努力しているかなというところが見えたのでプラスアルファしてAという評価をさせていただきました。ただ、管理運営の部分でBというところは私も一緒ですので、今からだよ、だから去年のことに関してはBだよというところであれば、全然Bで問題ございませんのでそれで行っていただければと思います。</p>
守泉委員長	<p>ありがとうございました。貴重なご意見をどうも。この施設というのはおそらく作った時に都市部でこういうカヌースラロームができるというのは世界で唯一の場所でしょうというようなことがありましたので、そういう面で上代先生も今、おっしゃった点のところ非常に次に生かせるとすると、世界的にも非常にユニークなことが数多くできるのではないかという風に思われます。その辺のところ含めて今後に期待できればと思います。</p> <p>他にご意見はありますか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。では、以上の結果のところ踏まえまして一次評価と同じBという形でさせていただきます。ありがとうございました。進行を事務局にお戻しさせていただきます。</p>
小池部長	<p>ありがとうございました。今いただきました貴重なご意見踏まえてまた進めさせていただきます。</p>

指定管理者によるプレゼン、質疑【大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場】

指定管理者：アメニス海上南部地区グループ

発言者	内容
小池部長	<p>それでは、議事を再開します。大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場の指定管理者によるプレゼンテーション、質疑及び二次評価の審議を行いたいと存じます。</p>
	<p>＜大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場指定管理者オンライン入室＞</p>
事務局	<p>それでは、指定管理者によるプレゼンテーションになります。プレゼンテーションの時間は 10 分間、時間厳守でお願いいたします。プレゼンテーションの後に委員からの質疑の時間を 5 分ほど取っておりますので、そちらへもご対応よろしくをお願いいたします。プレゼンにつきましては残り 3 分のところでベルを 1 度鳴らします。また 10 分たちましたらベルを 2 度鳴らしますので、その時点で終了とさせていただきます。それではプレゼンテーションよろしくをお願いいたします。</p>
施設職員	<p>それでは大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場における令和 3 年度の管理運営状況についてご説明いたします。私はアメニス海上南部地区グループ代表企業日比谷アメニスのヤマナカと申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>まず最初に令和 3 年度の総括ですが、令和 3 年度はコロナウイルスの感染拡大防止に最大限の配慮を行いつつ、東京 2020 大会の準備工事、大会の開催期間、大会終了後の復旧工事、後利用工事と続きまして、年間を通じて一般競技団体にご利用いただく機会はほとんどございました。このような 1 年であったことを念頭に、この後のご説明をお聞きいただければと存じます。</p> <p>では施設の管理状況からご説明いたします。まず施設・設備の定期点検や日常点検、通常の清掃業務に関しては、維持管理業務仕様書に従い、確実に実行しております。東京 2020 大会の開催期間中は、ロックダウンといわれるセキュリティ強化期間が設けられており、事前に登録申請を行い、ID カードが発券された関係者しか入場できないようになっていました。そのため、委託で行っている月次の点検業務等につきましては、ロックダウン期間は外して前倒しに実施するよう調整を図りました。その他、大会の 1 年延期によりずっと運用面では使用していなかった設備、例えば聴覚障害を持つ方向けのヒアリンググループ、集団補聴システムですとか、目の見えない方向けの非常用音声ガイダンスや、新たに導入された多言語放送システムの機能・操作といったものを、もう一度復習し確認を行って、大会運営を行う組織委員会の関係スタッフへ使い方説明を行っております。</p> <p>組織委員会の皆様とは工事期間中の入場調整・動線確認だけではなく、大会本番に向けて大規模地震等の非常事態発生時や、設備故障の際の対応等を事前に打ち合わせを重ね、公園管理事務所内の園内放送の活用等も見据えて、準備をしております。大会直前には、東京都のご担当者様・組織委員会・私共施設管理</p>

者の三者が一体となって運営体制の確認を行い、東京 2020 大会に備えました。

ロックダウン前には、当施設に対してではなかったのですが、オリンピック施設に対する爆破予告があったとかで、スタッフが手分けして建物内に不審物がないかの確認を行ったり、地震後の点検や台風に向けて浸水防止対策を行ったりしています。

また、警視庁によるサイバーテロ対処練習への参加や、セキュリティスイープといわれる建物内及び公園全体の不審物の総点検にも同行し、一緒に確認を行いました。大会期間中にはご提出した別紙 1 のアピールポイントとしても記載しておりますが、1 日 3 回の設備関係の巡回を行い、異常がないか確認を行ってまいりました。特に夏場ということで電気の使用量も多く、電気系統の変圧器が高負荷となっております。温度が高くなる傾向が見られたため、上限値を超えないかに注視していました。また、この他メタンガスの警報が雨などにより週 1 回くらいの頻度で発生する施設でしたので、選手の滞在中に警報が鳴らないよう、深夜帯に換気を行うといった予防対応を実施しております。その他、トイレの警報が繰り返し発生した原因について、組織委員会スタッフと共有を図り、流すボタンと非常ボタンの押し間違いがないよう英語表記を行うといった改善を図っております。

オリンピック終了後は施設内の状態や会議テーブルやイス、人口芝用のスポーツトラクターなどの備品の点検を行い、汚れや不具合、不足分などの指摘やその復旧状況の経過確認を行ってまいりました。一方、令和 4 年度に向けた優先受付においては、ホッケー以外の競技を対象とした多目的利用に向けての初めての受付となりましたので、従前のサッカー、アメリカンフットボール、ラクロスの競技団体、今後の利用が期待されるタッチラグビー、フライングディスクの団体に向けて、競技場における利用制限事項や後利用工事後のフィールドのイメージを伝える説明会、及び見学会を開催いたしました。フィールドの仕様、人口芝の仕様が変わったことにより、サッカーやアメフトの大会利用には課題が残りましたが、ホッケーやラクロスにおいては、マスターズワールドカップなどの国際大会をはじめ、全日本ホッケー選手権、ホッケージャパンリーグ、国体関東ブロック大会、全日本社会人ホッケー、東日本ラクロスクラブリーグ戦、関東学生ラクロスリーグ戦など、多くの主だった大会利用の申込みをいただき、計画を上回る大会の誘致を行うことができました。希望日程が重複した申請に対しては、関係団体が一堂に集まる調整会議を開催いたしました。その場で優先順位の説明を行うとともに、特定の競技に偏らないよう、日程変更や譲歩を促すといったことを行い、一定の満足を得られるようにいたしました。また、この会議の場は、私共だけではなく、各競技団体間での交流の良い機会となり、本題から外れた話や、盛り上がることもしばしばあり、今年度で開催した再開イベントにおいて、良い効果を生み出したのではないかと考えております。

続きまして、施設の提供及び事業効果、事業の取組についてご説明いたします。利用状況につきましては、冒頭のご説明の通り年間を通じて施設を提供できる期

	<p>間がとても少ない上に、大会前の日本代表選手による練習計画についても、年度始めから緊急事態宣言・まん延防止等重点措置により、利用の中止を求める状況にありました。その後も5月・6月に自主事業として予定していたPGT（プレゲームトレーニング）につきましても、外国人の入国規制があり、参加国選手による練習利用が中止となりました。このような中、6月後半からロックダウンまでのわずかな期間に日本代表選手さくらジャパンにご利用いただく機会を得まして、選手が宿泊先ホテルから当施設までバブルに近い状況でバス送迎がなされる中、代表チームのご担当者、組織委員会、バス会社のご担当者の皆様と情報共有し、工事エリア内をスムーズに入退場できるよう調整を図りました。</p> <p>また、再開業に向けて、ホッケー以外の競技ラインをどのような形で提供するのが良いのか、施設の維持管理面、利用者の利便性等も踏まえて、様々な素材、例えば石灰のパウダーだとか珪藻土パウダーなどパウダー数種類、それからマジックテープも色々なパターンのを混ぜて、現状復旧までの過程や人工芝への影響等の検証を行いました。併せて、予約管理を行う東京都スポーツ施設予約システムの導入に向けた仕様確認を行うなどの準備を進めてまいりました。</p> <p>この他、公園利用者に対して、大会中の交通規制や公園の利用制限の周知や、大規模工事への対応として、長く続いた工事期間中において、工事関係者と定期的に打ち合わせを行い、各工程により変わっていく公園内の動線変更に関して公園利用者の目線を意識して分かりやすく周知するように努めました。後利用工事の際は、邪魔となる屋外備品の撤去・退避作業等にも、工期に支障が出ないように適切に対処しております。大変駆け足ではございましたが、説明を終わります。ご清聴ありがとうございました。</p>
小池部長	<p>ありがとうございました。それではただ今のプレゼンテーション及び施設運営等につきまして、委員の皆様方からご質問・ご意見等ございましたら、ご発言をよろしくお願ひしたいと思います。</p>
守泉委員長	<p>1点だけ。オリンピック・パラリンピックが終了して現在、ホッケー協会とか2030年までに、ここを何か聖地にしたいというような形も長期計画の中に含まれているんですけども、そういうのを踏まえたときに、このところの何かシンボルとなるようなマークだとか物とか、そういうようなものっていうのはここに設定はされているか、ないしはそういう予定とかあるんでしょうか。</p>
施設職員	<p>特に計画はございません。オリンピックの記念品としての展示は行う予定なんですけれども、ホッケーのシンボリックなものについては考えてないです。</p>
守泉委員長	<p>ありがとうございました。</p>
小池部長	<p>他にご発言ございますでしょうか。他にご意見・ご質問等ないようですので以上とさせていただきます。大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場の皆様、アメニス事務局の皆様、プレゼンテーションいただきましてありがとうございました。こちらで失礼させていただきます。ホッケー競技場の皆様にはここでご退室をよろしくお願ひいたします。</p> <p>これからは審議に入りたいと思います。</p>

<大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場指定管理者オンライン退室>

二次評価の審議【大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場】

発言者	内容
小池部長	はい、それではご退室いただきましたのでここからの審議の進行につきましては守泉委員長に交代させていただきます。守泉委員長、よろしくお願いいたします。
守泉委員長	はい、ありがとうございます。それでは、大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場の二次評価案についてまず事務局よりご説明をお願いします。
武田課長	<p>再び資料6をご覧ください。</p> <p>まず「管理状況」ですけれども、2点目のところですね。東京 2020 大会のために設置した施設として組織委員会の求めに応じて施設設備の保守点検をきめ細やかに実施、大会の円滑な運営に貢献したという点が挙げられています。</p> <p>団体利用が中心となる施設であるが、観客席の維持管理も行われ、するスポーツ・みるスポーツ両面での利用において、快適な環境が整備されている点が挙げられております。</p> <p>また「事業効果」についてですが、オリンピック・パラリンピック会場として適正に事業が行われたという点が挙げられております。</p> <p>また3点目ですけれども、施設名は「ホッケー競技場」となっているが、ラグロスやタッチラグビーなどさまざまなスポーツでの利用が可能となっており、多くの大会が開催される施設となっている。他にも個人で参加できるようなイベントの開催もしており、利用者増＝競技人口増に寄与するような取組が期待されるという点が挙げられています。総合評価としてはBという評価とさせていただきます。</p> <p>次に「特記事項」ですけれども、「特に評価すべき点」というところでは優先受付時に施設見学会を実施して、利用者増を図ったところ。それから、団体利用が中心となる施設であるが、観客席も維持管理され、するスポーツ・みるスポーツ両面での利用において、快適な環境が整えられているという点が挙げられております。</p> <p>「改善が望まれる点」ですけれども、アンケートの回答数を増やす努力をすべきといったところ。それから自主事業をより多く開催することで、個人利用を促進すべきところ。それからHPのバリアフリー情報をもっと分かりやすく発信すべきという点をいただいております。</p> <p>「今後取組むべき点」といたしましては、日本のホッケーチームが世界的にも非常に力をつけており、一般への普及と利用者の底上げに係る各種施策に取り組まれない。それから自主事業をより一層企画されたいというところと、SNSでの情報発信というところが挙げられております。説明は以上でございます。</p>
守泉委員長	それでは、大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場の評価について、5分程度で調整させていただきます。委員の皆様、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

	<p>す。</p> <p>評価としては、これは一次評価、二次評価の委員の評価ともに全員がB評価となっているんですが、この部分も含めて、特にホッケーが意外と日本が強かったというのがありまして、皆さんのご意見をお聞かせいただければありがたいんですが、どなたかありますでしょうか。</p> <p>小海先生、何かご意見があれば。ありがとうございます。</p>
小海委員	<p>あまり詳しく見てなかったんですけども、HPを見てたらすごく見にくくて、分かりづらくて他のところがHP結構ちゃんとしてきてるのに、なぜこんな感じのHPのままなんだろうという気がしました。これから変わっていくのか。ただ管理者の広報とかの考え方と、今のご説明も資料に沿って説明されていなかったのでもちよっと何を聞いていいのかよく分からない状況で終わってしまった形なので、その辺をできればもう少し改善を。これは指定管理とは別かもしれないですけども。HPに関しては改善していただきたいです。</p>
守泉委員長	<p>特に二條委員の方からSNSの活用を推進されたいというようなことも書かれてまして、おそらくその辺のところも意識されておられるのかなと思うんですけども、二條委員の方から何かございますでしょうか。</p>
二條委員	<p>はい。HPの方を審査をする前に見たんですが、やはりちょっと分かりづらくて、もう少し情報が欲しいなという風に思いました。それはバリアフリーに関することだけではなくて、施設全体のことがちょっと分かりづらいなという印象を受けましたので、その辺りは改善していただければなという風に思いました。今プレゼンを伺った中でいきますと、ホッケー以外の競技でも数多く他の競技も誘致されていて、それが実現できそうということを仰っていましたし、また大会の規模も国際大会というような規模の大会が行われるのではないかというお話がありましたので、そういった部分は今後も施設利用に繋がっていく良い部分なのではないかなと感じました。以上です。</p>
守泉委員長	<p>ありがとうございます。先ほど、私も少しお話ししたんですけども、JAPAN HOCKEY Road to 2030 という文章の中には、この場所をホッケーの聖地にしようという意図も入っていたりとか、あとは海外ですとフィールドホッケーのeスポーツのリーグができてますね、既に。そういうことも踏まえて何か新しいことをやろうとするのかというのを思って少し水を向けてみたんですけど、あまり反応がなかったので、その辺り何か上代委員の方から知見とかございますでしょうか。</p>
上代委員	<p>私も色々HPとか拝見したんですけど、大会を呼びたい、呼ぼうというところまではやろうとしているんでしょうけれど、プラスアルファのところまでもっていないのかなというのが正直なところでした。なので、本当に聖地にしたいんだったら、例えば、個人利用でホッケー教室やってみて利用者増＝競技者増にも繋がっていくので、そうしたら協会さんの方にも寄与することができますし、ただそこまでやろうとしないんだろうなというのは見えてしまった、今見えてる情報だけだとそういう風に見えました。</p>

守泉委員長	ありがとうございます。何か周辺の他にできるスポーツという点で、丸山先生の方、何かお言葉はありますでしょうか。
丸山委員	特になんですが、前回のところの施設についてはよく使わせていただいておりますので、色々意見を言うことはできるんですが、こちらは遠いということもありまして、実際にはなかなか利用することはできませんので、送られてきたデータで判断するしかないというところなので、特に皆さんのご意見で結構だと思います。
守泉委員長	<p>ありがとうございました。他に何かお話をしておきたいというようなご意見があればと思うんですが。よろしいでしょうか。ありがとうございました。ただ今ご意見いただいた内容を踏まえまして、一次評価と同じでBとさせていただきますと思います。</p> <p>以上、よろしく申し上げます。進行を事務局にお戻しさせていただきます。</p>
事務局	ありがとうございました。大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場については公園の施設の一部でもありますので、いただいた貴重なご意見を指定管理者にもフィードバックさせていただきまして、引き続きホッケーをはじめとするスポーツの振興にも繋げていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

指定管理者によるプレゼン、質疑【東京アクアティクスセンター】

指定管理者：事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

発言者	内容
小池部長	<p>これより、東京アクアティクスセンターの指定管理者によるプレゼンテーション、質疑及び評価の審議を行いたいと思います。それでは東京アクアティクスセンター指定管理者の入室を許可してください。</p>
	<p><東京アクアティクスセンター指定管理者オンライン入室></p>
事務局	<p>それでは、指定管理者によるプレゼンテーションになります。プレゼンテーションの時間は 10 分間、時間厳守でお願いいたします。プレゼンテーションの後に、委員による質疑の時間を 5 分ほど取っておりますので、そちらへのご対応もお願いいたします。プレゼンにつきましては、残り 3 分のところでベルを 1 度鳴らします。また 10 分たちましたらベルを 2 度鳴らしますので、その時点で終了とさせていただきます。それではプレゼンの方よろしくをお願いいたします。</p>
館長	<p>それでは、東京アクアティクスセンター令和 3 年度の管理運営状況についてご説明いたします。私は東京アクアティクスセンター館長のカクタと申します。どうぞよろしくをお願いいたします。それでは、資料に沿ってご説明させていただきます。</p> <p>はじめに、「適切な管理の履行」についてご説明いたします。まず、「施設・設備の保守点検」についてですが、令和 3 年度の前半は東京 2020 大会に向けてのオーバーレイ工事が行われ、7 月から 9 月にかけて東京 2020 大会の競技会場として大会運営に協力いたしました。大会後はオーバーレイ工事の撤去工事、その後、再開業に向けた東京都による改修工事が行われました。各施設・設備等の点検にあたっては、日常点検・定期点検等を適切に実施するとともに、冷温水発生機、プールろ過装置等の運転状況を日誌等で記録を残すことにより、細かな変化を速やかに把握する監視体制を整え、故障や事故の未然防止に努めてまいりました。不具合等が生じた場合は、直ちに東京都へ報告し、連携して迅速に対応いたしました。</p> <p>東京 2020 大会や東京都による施設改修工事を踏まえ、各種点検等の年間業務実施計画を策定し、計画的かつ状況に応じて柔軟な対応を行いました。特に、東京 2020 大会前には機器等の正常稼働を確認し、万全な状態で大会を迎えることができました。また、大会中においても、きめ細かな日常点検を行い、競技に支障のないようにいたしました。</p> <p>大会後は、令和 4 年 2 月からの東京都による施設改修工事に向け、1 年以上にも及ぶ長期期間の休館となるため、機器等を停止するなど適切な措置を講じております。また、令和 4 年 1 月に 2 年目瑕疵検査が実施されましたが、特に指摘事項はなく、日常の不具合箇所等については、その都度東京都へ報告し、情報共有を図っており、円滑に進めることができました。</p>

続いて、「プール施設の管理」についてご説明いたします。プールの水質については、中央監視システムにより、随時、水温、遊離残留塩素濃度及び薬品残量を管理しております。そのうち、水温と遊離残留塩素濃度については、実測によるクロスチェックを行い、より正確で適切な水質保持に努めております。

また、ろ過装置等の水質管理機器は1日2回の点検を行い、正常運転を維持するとともに、24時間運転による水質浄化や、先ほど申し上げた水質保持の徹底により、プール底が明瞭に見えるほどの透明度を保ち、衛生的なプール環境の維持に努めております。東京2020大会では、各国の選手などからプールの透明度についてお褒めの言葉をいただいております。

続きまして「施設の警備」についてご説明いたします。警備業務にあたっては昼夜合わせて4名以上の警備員を常駐させ、定位置警備では、作業届の確認による入退館管理を適切に行うとともに、防災センターによる監視、警備を行いました。巡回警備については、不審者・不審物のチェックや、工事中の危険箇所の確認などを行いました。また、セキュリティカメラによる警備体制を整え、効果的かつ効率的な警備を行いました。東京2020大会時は、大会日程等に合わせ配置人数を調整するなど、万全な体制で警備を行いました。

また、東京2020大会前には、警視庁サイバー攻撃対策センターによる机上演習に参加し、不審者・不審物の対応など物理的な面での対策について助言をいただき、体制の強化に繋げることができました。

続きまして、「施設の提供について」をご説明いたします。東京2020大会組織委員会によるオーバーレイ工事や東京都による施設改修工事が円滑に進むよう、定期的な連絡会による情報共有を綿密に行いました。

東京2020大会の前には、日本選手権水泳競技大会や、飛込ワールドカップ等を開催しました。開催にあたっては、開館時間の繰り上げや、機械設備の制御運転、水温及び室温の最適化など、大会主催者の要望に応え、適切に対応いたしました。

東京2020大会では、施設の事前点検や確認に努め、万全な状態にするとともに、プール水温状況の確認に対する計測結果の提供や、外国人には分かりにくかった個室トイレの呼び出しボタンの分かりやすい表示など、組織委員会からの意見・要望等についても東京都と連携して全面的に協力し、大会成功に大きく貢献しました。

次に、「安全性の確保」のうち「防災への配慮・緊急時対策」についてご説明いたします。利用者の皆様に安全かつ安心して施設をご利用いただくため、防災への備えとして、消防設備点検及び自衛消防訓練を実施しました。消防設備点検では、東京2020大会の仮設部分についても併せて点検し、館内全体の防災機能及び緊急時対策の徹底を図りました。自衛消防訓練では、東京2020大会前に大会組織委員会と合同で実施し、指定管理者が消火栓の使用方法や、避難誘導等のデモンストレーションを行い、大会ボランティア等関係者の緊急時の対応能力の向上に尽力いたしました。

	<p>また、令和4年2月からの都の改修工事期間中は、工事エリアと指定管理エリアが混在するというイレギュラーな状況となります。そのような中で、防火管理の責任分界点や緊急時の連絡体制等について、東京都工事事業者をはじめ、財務局等の関係局の職員らと協議を重ね、施設の安全性が十分確保できるよう、体制整備に努めました。</p> <p>次に、「適切な財務運営・財産管理」のうち「物品の管理」についてご説明いたします。物品の管理については、東京都物品と指定管理者調達物品とをシール貼付により明確に区別して管理しております。東京都が作成する「物品管理者別物品一覧表」に基づき、数量や動作確認等の自己点検を実施し、適切に管理しております。</p> <p>また、東京2020大会や改修工事対応のため、一部の物品については、保管環境が整っている外部倉庫に移動し、適切に管理を行いました。特に競技用計時機器などの精密機器は、定期的に保守点検を行い、正常に作動するか確認しております。その他の備品類についても、月ごとに保管状況を確認し、現状把握に努めております。</p> <p>さらに、改修工事に伴い長期休館となりますが、工事による粉塵等の影響を考慮し、プールサイドや観客席、ダイビングの床面にビニール養生を行うなど、施設や物品の保全に努めております。</p> <p>最後に、「事業の取組」のうち「新型コロナウイルスへの対応」についてご説明いたします。新型コロナウイルス感染拡大防止に対しては、「都立スポーツ施設等の再開館に向けた感染拡大防止ガイドライン」を踏まえ、当館を利用する際の感染拡大防止チェックリスト等を作成し、遵守事項の周知・徹底を図りました。利用者に対しては、入館時における検温や体調確認など感染拡大防止対策を徹底するよう呼びかけを行いました。大会の団体利用の際には、主催者が行う感染拡大防止に向けた具体的な対応を事前に確認し、ガイドラインに則して感染拡大防止の徹底を図りました。</p>
小池部長	<p>アクアティクスセンター、ありがとうございました。それではただ今プレゼンテーションいただきました内容につきまして、施設運営等に関する各委員の皆様方からご意見・ご質問等ございましたら、ご発言をよろしくお願いいたします。</p>
守泉委員長	<p>1点だけお願いします。BCPという観点ですかね。もしこの地域のところの水害とかに対してはどのような形で対応するのか。例えば避難はどの辺りに行くとか、ここが水没するような危険に関してすぐ復旧できるとかその辺のあたりはどうなんでしょうか。</p>
施設職員	<p>当施設が帰宅困難者一時滞在施設に指定されてまして、水害だけでなく地震等災害があったときに近隣住民の避難場所、一時避難場所になっております。水害については近くに水門がありますが、3階部分の高さが約30メートルありますので、一応そちらに誘導するような形になるという想定でございます。</p>
守泉委員長	<p>ありがとうございました。</p>
上代委員	<p>プレゼンありがとうございました。1点お伺いしたいんですけども、こちら</p>

	<p>の方、何もしなくてもそれなりに大会は集まってくるんだと思うんですけども、大会を誘致したりとか営業努力というんですかね、そういうもの何かしているものがあれば教えていただきたくお願いします。</p>
施設職員	<p>うちのコンソーシアムグループに公益財団法人東京都水泳協会、北島オリンピックが会長をやっているんですが、そこがコンソーシアムの仲間に入っていて、当然日本水泳連盟の核団体ですので、そちらと連携して大会を誘致してくるといような形がポピュラーなやり方ですが、なかなか今、アクアが一番負の遺産だというような話を散々されてますので、水泳以外の近隣の施設と連携したレジャー事業等もこれから考えていきたいと思っております。</p>
上代委員	<p>ありがとうございました。</p>
小池部長	<p>他にありますでしょうか。よろしいでしょうか。他の委員からご発言がないようでしたら東京アクアティクスセンターにつきましては以上とさせていただきます。東京アクアティクスセンターの皆様、プレゼンテーションいただきましてありがとうございました。東京アクアティクスセンターの皆様、退室をお願いします。スポーツ文化事業団の事務局さんも退室お願いいたします。</p>
	<p><東京アクアティクスセンター指定管理者オンライン退室></p>

二次評価の審議【東京アクアティクスセンター】

発言者	内容
小池部長	ここからの審議の進行につきましては委員長に交代させていただきます。守泉委員長、よろしくお願いいたします。
守泉委員長	ありがとうございました。それでは、東京アクアティクスセンターの二次評価案について事務局よりご説明をお願いします。
武田課長	<p>再び資料6をご覧ください。</p> <p>まず「管理状況」について、2点目にありますように東京2020大会に向けて、組織委員会の求めに応じて施設・設備の保守点検をきめ細やかに実施し、東京2020大会の円滑な運営に貢献したというところ。また大会を迎えるにあたり、主な設備機器の定期点検を行ったという点が評価されております。また、3点目ですけれども、大会を契機に東京に設立された水泳競技施設として、現状スムーズな管理運営が行われていること、国際大会をはじめとする沢山のイベントが開催されることが期待されるということが挙げられています。</p> <p>次に「事業効果」について、2点目にあるように辰巳の森海浜公園と、工事・開館情報を共有し、安全な工事実施に努めているという点。それから3点目、様々なスポーツイベントの開催など、団体利用が中心となるが、最先端の技術が導入された施設であり、貸施設業での大きな収入が見込まれる。今後、運営が軌道に乗った後には、自主事業が多く実施されることを期待したいという点が挙げられています。総合評価としてはBとさせていただきます。</p> <p>次に「特記事項」について、「特に評価すべき点」というところでは施設、設備の安全性確保に努めている点。それから大会期間中は通常の営業時間を超えて施設に駐在し緊急対応に備えたほか、早朝・深夜の対応ができるシフトを構築したことが挙げられています。なお「改善が望まれる点」といたしましては、自主事業をより積極的に展開すべきというところ。それからHPについて、アクセシビリティ設備情報だけでなく、各施設内や施設までの動線の情報を追加すべきといったところが挙げられています。「今後取組むべき点」といたしましては、自主事業のより一層の企画というところ、SNSでの情報発信というところが挙げられています。説明は以上でございます。</p>
守泉委員長	<p>ありがとうございました。それでは、東京アクアティクスセンターの評価につきまして、5分程度で調整させていただきます。委員の皆様ご審議のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>一次評価の部分はBということで、あとは4人がB、1人がA評価となっております。評価を調整させていただきたく、A評価とされている上代委員、評価の理由についてお伺いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
上代委員	こちらの施設に関しても、まず管理運営に関してはスムーズになさっているんだろうなと思っていて、資料見たときにはもうちょっと利用促進に向けて何かや

	<p>ろうとされてるんだらうなと見えたんですけども、今質問もさせていただいても、プラスアルファで何を行おうとしているのか、しっかりと見えていないので、B評価でよろしく願いいたします。</p>
守泉委員長	<p>ありがとうございます。なんかそういう面で改善が望まれる点のところに、上代委員の方から自主事業をより積極的に展開すべきと書かれていまして、どうもそここのところがあまりアピールする点が見られなかったような気がします。</p> <p>もう一つ、二條委員の方から HP につきましてアクセシビリティの設備の情報だけでなく、各施設の動線の情報、また写真を追加すべきというご意見があったんですけども、写真がこういう所でこうあったら良いというのは何か気付かれた点があったんでしょうか。二條委員の方からコメントをいただければと思います。</p>
二條委員	<p>アクアティクスセンターだけではなくて、他の施設もそうだったんですけども、アクセシビリティの観覧者側の情報というものは結構出ていたんですけども、利用者目線の情報がまだまだ少ないなと思いました。14 施設今回あった中でも、利用者目線のバリアフリーの情報があつたのは1件くらいなのかなと思います。全体を通してなんですけれども、車いすユーザーだけではなくて様々な障害に対応するためにも、写真があつた方がより一層分かりやすいなと思いました。以上です。</p>
守泉委員長	<p>ありがとうございます。事務局の方にお聞きしたいんですけど、この施設は今後、令和4年に入ってから障害者の方の利用というのはある程度、ニーズというのは結構あるんでしょうか。その辺、ちょっと事務局の方分かりますか。</p>
武田課長	<p>令和4年度は、今年度も基本的に東京都の改修工事を通年行っている状況なので、まだ実際に障害者団体の利用とかというのはまだ入ってきていないという状況です。また、令和5年の4月1日に再開業となりますので、そこに向けた大会とかの受付をしているタイミングですので、まだその情報を集約しきれてないものですから。ただ、運営計画には障害者の方の競技大会もいくつか入れてましたので、そういったところの団体さんにはきちんとお声がけをさせていただいて、積極的に使っていただけるように調整の方はしていきたいと考えております。</p>
二條委員	<p>今の件でちょっと伺いたいんですが、まだ工事をされているということなので、工事をされているため設備的に現状と変わるので、写真等を載せられないという状況なんですかね。</p>
武田課長	<p>そういう状況もあると思います。実際に後工事も出来上がって、現場の写真なんかもきちんと出せるようになると、そこら辺もこちらの方で準備をさせていただいて対応できるのかなとは考えております。</p>
二條委員	<p>分かりました。現状の改善というよりも今後工事が完了した際にはそのようにしていただきたいというような記載でお願いできればと思います。</p>
小海委員	<p>同じ話なんですけど、確認なんですけど、今の事務局のお話も何かはつきりしない部分があつて、要するにここは開いていないんですよね。全く閉館しているん</p>

	ですよね。
武田課長	昨年度で申し上げますと、基本的に組織委員会大会準備の時からずっとお貸ししている状況です。ただ一部、代表選手の選考会がありましたので、そういったところだけ、組織委員会の方でおさえていた利用を数日間キャンセルしていただいて、そこだけ競技団体の方で大会を行ったというところはあるのですが、それ以外は一般の方は全く利用できてないという状況です。
小海委員	大会終了後は、HPを見ると2022年2月1日からもう立入禁止みたいなことが書いてあるので、団体利用もないということですよ。
武田課長	はい、大会後はずっと、立ち入ることができない状況になっています。
小海委員	事務所も移転しているということが書いてあるので、ここは誰もいないということですよ、極端に言うと。
武田課長	最低限の設備のメンテナンスに必要な人だけ来るような形にして、本体の先ほどの事務所に関しては、別の所に今移転している状況です。
小海委員	令和3年度の最後の2月・3月は指定管理の仕事もなくなったのか分かんないんですけど、という状況で、当然今令和4年度は管理してない状況ということですよ。
武田課長	全く管理していないわけではなくて、電気設備とかもありますので定期的なメンテナンスとかですね、そういったところに関しては技術の者が立ち入ったりはしているんですけども、通常の維持管理業務とは異なる形で対応しております。
小海委員	4年度はもう5年度になるまで改修がかかるとすると、全然使わないっていう予定で、きちんとした次の形ができるということですよ。
武田課長	はい、そうです。
小海委員	そうすると、先ほどの守泉先生の最初の質問で避難場所の話で避難できると言っていたんですけど、HPを見ると囲いがあるから立ち入れませんと書いてあって、避難場所になってないはずなんですけど、何か話がずれてると思ひまして。
小池部長	事務局の方から今補足させていただきます。すみません。
武田課長	現時点では一時滞在施設ということにはなっていないんですけども、改修工事期間中ですので、そのような形での利用は難しい状況というのが実態でございます。先ほど指定管理者から話があったのは再開館後、再開業後にそういった機能も持ち合わせて対応していくと、そういったお話だったという風にとらえております。
小海委員	ありがとうございました。
守泉委員長	事務局の方から追加というお話があったんですけどもどうぞ。
武田課長	大丈夫です。先生方に、不十分な点があればと思ったんですけども。
守泉委員長	よろしいですか。これは結局、当初の計画通り、ということなんですかね、今のお話というのは。この期間ずっと使えないというのは。
武田課長	当初の計画通りです。もともと後工事に時間がかかるというところで、仮設で設けていた観客席とか外階段の撤去とか、他の施設とは異なる内容の工事を今、行っているところでございます。東京都の改修工事として足場を組んで天井を貼

	<p>ったりとか色々建物系の工事になりますので、少し他の施設とは様子が違うというところがございます。これまでも都議会にもこういった期間がかかるということで、ご説明させていただいてきたところでございます。</p>
守泉委員長	<p>そういうこともあって、先ほど負の遺産というのが言われた部分というのがあ るのかもしれないですけど、やはりそれだけ色んな形でコストがかかる部分なん だということなのかもしれないですね。ありがとうございます。他に何かご意見 ございますでしょうか。</p> <p>これまでの議論を踏まえまして、上代先生からの話もあったことから、一次評 価と同じ二次評価に関してもBということにさせていただいてよろしいでしょ うか。ご異議がないようですので、東京アクアティクスセンターの二次評価に関 してはBということにさせていただきます。</p>

全体整理

発言者	内容
守泉委員長	<p>ここまでで一応本日予定されていました全ての施設につきまして二次評価の審議が終了いたしました。くしくも全てがBという形になっているんですけども、必要があれば再度評価につきまして確認・整理を行いたいと思いますので、何か追加でご質問ないしご意見があればよろしくお願ひします。いかがでしょうか。</p>
丸山委員	<p>同じBでもかなり差があるような気がするんですよ。ですから、同じBなんだけれども良い所は良いということで、指摘するところは指摘するというところで事務局の方から各指定管理者に話していただければいいのではないかと思います。Bの幅は広いですから。</p>
守泉委員長	<p>ありがとうございます。これまでの議論の中でも団体さんの方が積極的に色々なことで頑張っている部分と、それから、あまり関心がないのか、決まったことだけをやっていらっしゃるといふ報告のものもございましたので、その辺のところを踏まえて丸山委員の方から言われた指摘に関して加えていただきたいと思ひます。</p> <p>他にご意見・ご質問ございますでしょうか。ないようですので、これまでご審議いただいた内容の通りということでさせていただきます。進行を事務局にお戻しさせていただきます。</p>
小池部長	<p>委員の先生方、誠にありがとうございました。以上、本日予定しておりました審議を終了させていただきます。委員の皆様方におかれましては、先週と本日と2日間にわたりまして、ご多忙のところ長時間にわたる会議にご出席いただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>今日は新規恒久施設ということで、まだ実際に稼働していない施設の評価ということで多様な難しさがあったところがございますけれども、貴重なご意見承りましたのでこれからの施設運営に参考にさせていただきたいと思ひます。また、審議の前に事前に施設等見ていただいた所もございますし、逆に実際に見ていただけなかった施設もございます。各委員の皆様方からも様々なご意見があろうかと思ひますので、今後とも各スポーツ施設等ははじめといたしまして東京都のスポーツ振興施策にご協力を賜りますよう何卒よろしくお願ひいたします。</p> <p>この後の流れにつきまして、事務局から補足で説明をさせていただきます。</p>
武田課長	<p>最後に、今後の予定について説明させていただきます。本日の二次評価に基づきまして、所管局で総合評価を決定いたします。こちら9月頃に評価結果をHP等で公表させていただく予定となっております。</p> <p>またその際に、委員の皆様のお名前についても公表させていただくこととなりますので、また内容等、ご確認いただきたいと思ひておりますのでよろしくお願ひいたします。</p>

小池部長	委員の皆様方よろしいでしょうか。ありがとうございました。それでは、以上をもちまして、東京都生活文化スポーツ局の指定管理者評価委員会を閉会とさせていただきます。長時間にわたりご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。
------	--